



道の駅「輪島」が『モデル「道の駅」』に認定

～平成29年度 モデル「道の駅」 地域交通拠点部門～

平成29年11月22日、平成29年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)として、北陸地方整備局管内より下記の「道の駅」が認定されました。

道の駅「輪島」 わじま (わじま かわいまち 石川県輪島市河井町20部1の131)

【特長】

- ◆ 将来の無人自動走行も見据えた電動カートの試験走行など先進的な取組を実施
- ◆ 隣接する文化会館との渡り廊下を整備し、利用者の利便性を向上

国土交通省では、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”の取組を昨年度から実施しています。認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

※全国の認定状況については、国土交通省道路局ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html>

<同時発表記者クラブ>

新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ 富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ
新潟・富山・石川・県内専門紙

問い合わせ先

北陸地方整備局 道路部 道路管理課長 すぎ ひろゆき 杉 浩行
〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 みさきちょう
TEL. 025-280-8880(代表)



国土交通省

石川県輪島市 道の駅「輪島」

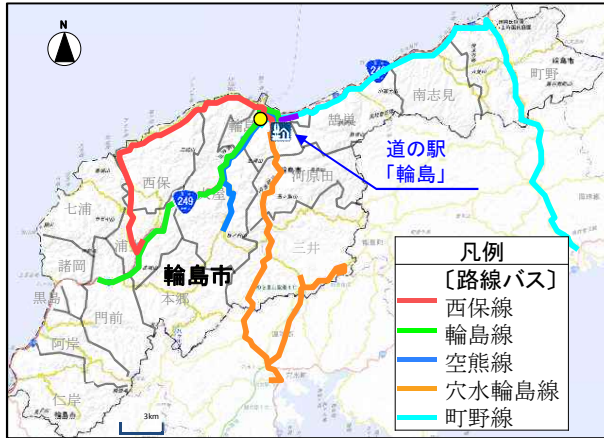
平成15年度開駅

- 「道の駅」を起点として、将来の無人自動走行も見据えた電動カートの試験走行を実施。
- 隣接している文化会館と「道の駅」の間を渡り廊下で結び、利用者が雨でも濡れずに行き来できる環境を整備。

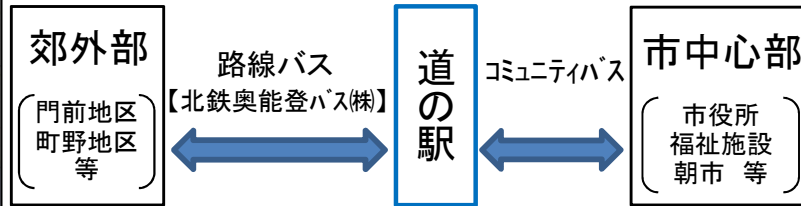
石川県

人口 約28千人
面積 約426km²

輪島市



地域住民の足の確保



- ◇のと鉄道の廃線に伴い、旧駅舎を活用して地域交通のハブ拠点として再生。
- ◇ 道の駅を起点として市街地で電動カートを試験走行。将来は無人自動走行を目標。



乗継利便性向上の取組



◇ 道の駅と文化会館間の渡り廊下



◇ 交通案内所(待合所内)



平成29年11月22日
道路局国道・防災課



平成29年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)を認定しました！

～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1,134箇所に広がり、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、その重要性が高まっています。

国土交通省では、「道の駅」の質的向上に向けた取組として、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”の取組を昨年度から実施しているところです。

今年度は、“地域交通拠点”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、本日、7箇所を認定しました。

■ 認定結果

○ 平成29年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門) 認定数 全7箇所

※認定対象の詳細は別添資料のとおりです。

○ 認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

○ 認定証授与式については、別途、お知らせします。

○ その他、詳細は「道の駅案内」サイトをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html>

[問い合わせ先]

道路局 国道・防災課

課長補佐 濱谷 健太 (内線 37862)

課長補佐 西野 毅 (内線 37842)

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8492 FAX：03-5253-1620

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

- 地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、「道の駅」の重要性が高まっている。
- 全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与
- 「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ（部門）を設定
- 平成29年度は、テーマ（部門）として“地域交通拠点”を設定



平成29年度 モデル「道の駅」（地域交通拠点部門）

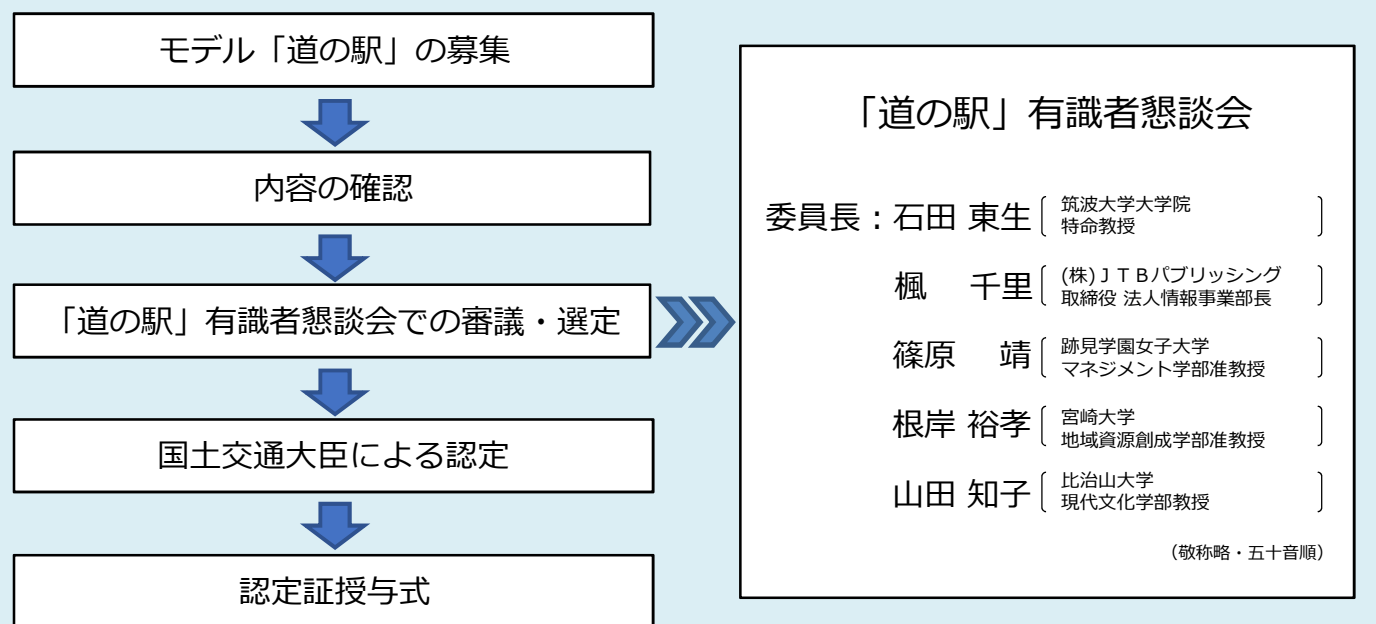
国土交通大臣認定

中山間地域及びその周辺地域において、「道の駅」が公共交通モード間の接続拠点となっており、接続機能向上の取組により、現時点で地域住民の生活の足の確保に資する成果をあげているもの

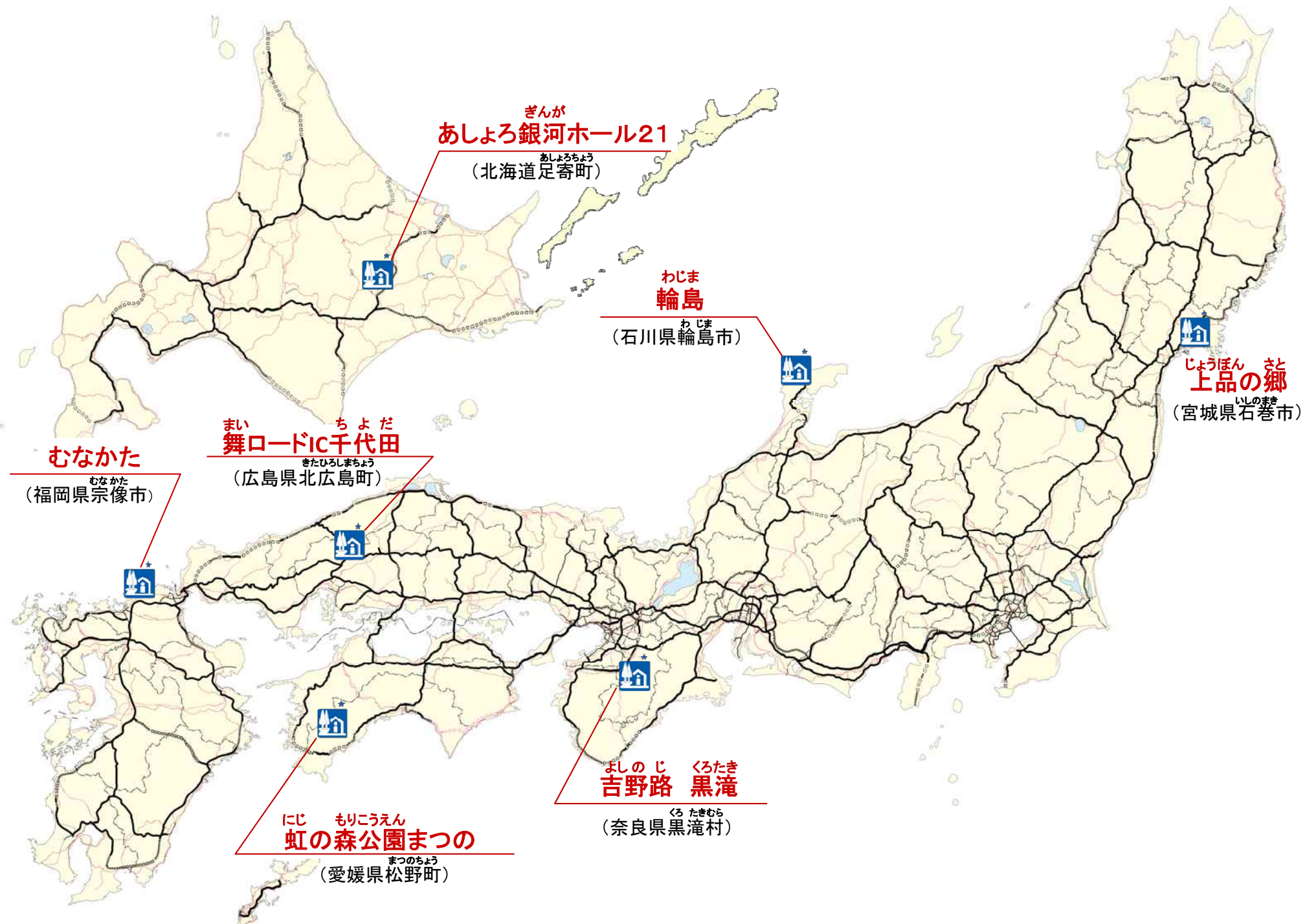
（対象イメージ）



（認定の流れ）



平成29年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)



平成 29 年度 モデル「道の駅」(地域交通拠点部門)

都道府県	市町村	設置年度	駅 名	主な特長
北海道	あしよろちょう 足寄町	H16	あしよろ ^{ぎんが} 銀河ホール 21	・バス車両と一般車両の駐車スペースを分離した空間設計 ・路線バスの運行時間に合わせて、待合所の営業時間を延長
宮城県	いしのまき 石巻市	H16	じょうぼん ^{さと} 上品の郷	・民間バス事業者との連携により、バス停を「道の駅」の待合スペース前に移設 ・「道の駅」を市の総合交通戦略に位置づけ ・東日本大震災後に、仮設住宅路線を新設
石川県	わじま 輪島市	H15	わじま 輪島	・将来の無人自動走行も見据えた電動カートの試験走行など先進的な取組を実施 ・隣接する文化会館との渡り廊下を整備し、利用者の利便性を向上
奈良県	くろたきむら 黒滝村	H5	よし の じ くろたき 吉野路 黒滝	・コミュニティバスと路線バスの乗継利用者に、路線バスの乗車券を無料配布 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
広島県	きたひろしまちょう 北広島町	H16	まい 舞ロード IC ^{ちよだ} 千代田	・高速バス停への乗継経路上にエレベーターや屋根を設置し、乗継利便性を向上 ・民間バス事業者との連携により、高速バスのチケット販売や IC カードチャージ機の設置を実施
愛媛県	まつのちょう 松野町	H10	にじ もりこうえん 虹の森公園 ^{まつの}	・民間バス事業者との連携により、路線バスの終点を「道の駅」まで延伸 ・路線バスとコミュニティバス相互の運行状況に合わせて時間調整を実施
福岡県	むなかた 宗像市	H20	むなかた	・民間バス事業者との連携により、路線バスのルートを「道の駅」経由に変更 ・「道の駅」から天神行き特急バスを新設